

(様式第 1 号) (第 9 条関係)

事業基本計画書

2024年5月7日

長野県知事 様

住 所 東京都千代田区神田須田町二丁目5番
氏 名 C Eエンジニアリング株式会社
代表取締役 山口洋史
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第 9 条第 1 項（第21条第 3 項、第27条及び附則第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		中野市大字田上字牧ノ入2500番2
事業区域の位置及び面積		位置図及び事業区域図参照 7,802.11㎡
太陽光発電電力施設の合計出力		495kW (太陽電池の合計出力 617.76kW)
太陽光 発電事業の 内容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	■売電 □自家消費 設備ID (AK 2 3 6 2 7 C 2 0)
	設置工事着手予定日	2024年8月30日
	設置工事完了予定日	2024年11月30日
	運転開始予定日	2024年12月10日
	施設撤去予定日	2043年3月30日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添の太陽光発電施設設置計画書のとおり
太陽光発電施設の構造に関する事項		別添の構造設計図のとおり
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別添景観保全のための措置の検討状況のとおり
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		なし
維持管理計画に関する事項		別添の維持管理計画書のとおり
関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠		範囲 中野市大字田上牧ノ入地区および木島平村役場

	根拠	案件地は牧ノ入地区に属しているが、中野市の要望により木島平村役場へも案件詳細資料を提出
事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日時	令和6年5月31日（金） PM:9:00～17:00
	場所	参加を希望する方は令和6年5月28日までにご連絡ください。
意見の提出先	提出先：東京都千代田区神田須田町二丁目5番地 C Eエンジニアリング株式会社 代表メール：info@cee.co.jp	
土地の権原の取得予定	令和2年10月16日売買契約締結済	
地域社会に資する事項	1. 発電所施設維持に関し、年2回以上の除草を地元シルバー人材への依頼をいたします。 2. 自治会費等発生する場合は協力させていただきます。	
備考	連絡先 C Eエンジニアリング株式会社 (電話番号) 03-6206-4353 (FAX番号) 03-6206-4307 (電子メールアドレス) s-takebayashi@cee.co.jp	

注1 該当する□内に△印を記入すること

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☐ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他（土塁設置にて雨水流出防止）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別添の工程表参照		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 4t 平台車両 18 台 4t ユニック平台車両 2 台 運行時間 午前 9：00～午後 3：00 経路 別添資料参照		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		— m ³
排水処理設備の有無	有 ・ ☒ 無		
	排出経路		
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	周辺より低い位置に敷地はあり、敷地を見渡せる道路との間に樹木があり、その樹木を残し周辺から発電所が見えないよう配慮しました。 また、造成は行わず極力現状の敷地形状を保つようにいたしました。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的眺望点からは本発電所は見えませんが、半径3kmの任意の地点から完成予想図を作成いたしました。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	敷地は重要な道路や住宅の敷地等に隣接しておりません。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	パネル間の幅を4mとり、管理のしやすさと冬の積雪時の除雪に対応した間隔とした。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	積雪を考慮し、最低部分を2.5m、最高部を5.76mにしましたが、施設が見える場所と施設との間の自然林を残すことで施設を直接見えないよう配慮しました。 また、敷地の周囲の空間を余裕をもって取っております。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	積雪考慮でモジュール角度30度を採用しておりますが、南側からは人的視覚・視界はありませんので圧迫感はないと考えます。
	形態・意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	地盤調査の結果のもとに架台はスクリー杭を採用し、配列を一定の並行配列にしました。

		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	傾斜角は30度を採用しましたが、積雪を考慮したものであり周辺からは直視出ない場所にある為問題ないと考えます。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	パネル裏面が見える道路とは離れていて、且つ敷地が道路より低い為裏面は見えないです。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		パネルはメーカー仕様の低反射・防眩処理パネルを採用します。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		パネル色は低明度の黒色を採用します。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	低反射処理の黒色を採用します。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	モジュールと同色を採用します。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		フェンス・門扉色は、景観に配慮しベージュ色とします。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は1本になり、既設の電柱を使い配電いたします。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		全てグレーベージュ色で統一します。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽は行ないませんが、既存の自然林を伐採せず生かし緑化を損なわないようにします。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽は行いません。現存の樹木を残し周辺地域適した自然の環境といたします。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		敷地の場所が低く、樹木の位置から周辺住民に反射光の影響はないと考えます。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		20年間の保守・点検は定期的に行います。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		中野市都市計画課へ景観法届出済

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2024 年 4 月 3 日

太陽光発電施設の設置場所	中野市大字田上字牧ノ入 2500 番 2	
事業者名(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先)	東京都千代田区神田須田町二丁目 5 番地 C E エンジニアリング株式会社 代表取締役 山口洋史 電話 03-6206-4353	
保守点検責任者	氏名及び住所	中部電気保安協会 中野市大字吉田字中川原 1277-1
	電話番号	0269-26-5649
合計出力	495kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日(事業終了予定日)	2043 年 3 月 30 日	
損害保険の加入状況(加入予定)	■有 □無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応・盗難)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	リサイクル法に則り、材質別に分離し各産廃業者に委託いたします。 廃棄表は事業終了 10 年前より売電収入から強制的に電力会社につみたてられます。	
維持管理計画及び状況の公表方法	1. 現地に標識看板設置し事業者・連絡先を明記 2. C E エンジニアリング(株)の H P にて事業公表 3. 情報開示請求があった場合は速やかに開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

万が一、発電施設周辺で土砂災害が発生するおそれがある場合は、人命を脅かさないことの下条件にて現地の発電施設の直流・交流電源を切り感電による 2 次災害を防ぎます。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

発電施設の損壊が生じた場合、早急に送電線の遮断と損壊施設の撤去に入ります。周辺環境保全に支障が生じた場合、同じく損壊施設の撤去及び損壊にて支障がでた周辺環境を撤去し、その後、現状回復に向け工事の段取りをし、周辺環境を再生いたします。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年4回	3ヶ月毎
			端子箱に破損、変形がないか		年4回	3ヶ月毎
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年4回	3ヶ月毎
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年4回	3ヶ月毎
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年4回	3ヶ月毎
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年4回	3ヶ月毎
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年4回	3ヶ月毎
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年4回	3ヶ月毎
			接続部に緩み、破損がない。		年4回	3ヶ月毎
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年4回	3ヶ月毎
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年4回	3ヶ月毎
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年2回	6ヶ月毎
			ボルト、ナットの緩みがない。		年4回	3ヶ月毎
			固定強度に不足の懸念がない。		年4回	3ヶ月毎
接続箱	■	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年4回	3ヶ月毎
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年4回	3ヶ月毎
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年4回	3ヶ月毎
	■	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年4回	3ヶ月毎
漏電遮断器	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年4回	3ヶ月毎
	■	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年4回	3ヶ月毎
パワーコンディショナー	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年4回	3ヶ月毎
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年4回	3ヶ月毎

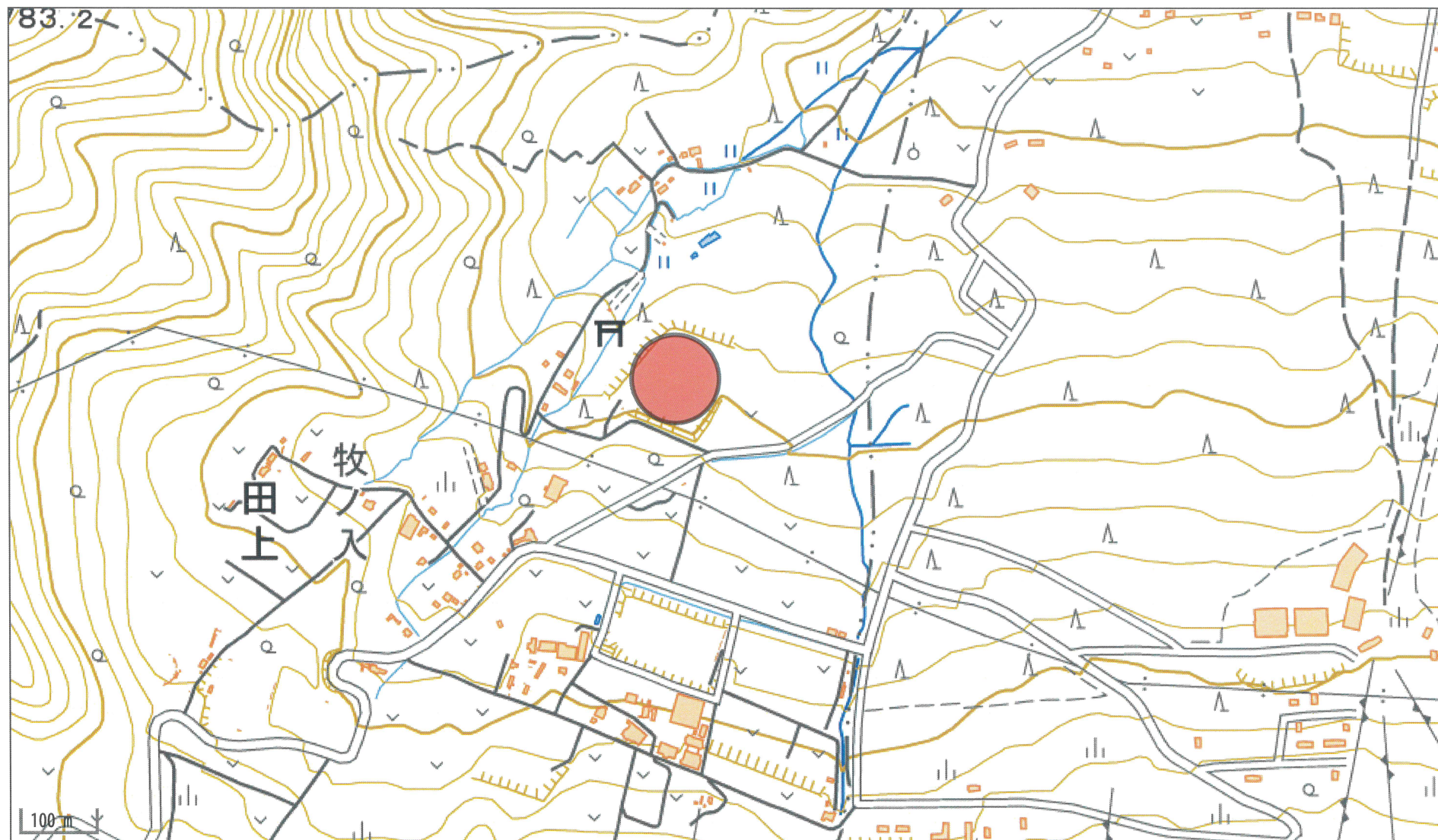
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年4回	3ヶ月毎
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年4回	3ヶ月毎
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年4回	3ヶ月毎

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 ○ 回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
排水設備	□	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	□	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			

			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		
			草木の繁茂がない。		
	□	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		
	□	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		
	□	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		
			油等の浮遊がない。		
	□	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		
			油等の浮遊がない。		
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		
防護柵、塀	■	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。	年4回	3月毎
	■	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。	年4回	3月毎
	■	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。	年4回	3月毎
進入路・管理道	■	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年4回	3月毎
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年4回	3月毎
			雨水等による洗掘がない。	年4回	3月毎
			草木の繁茂がない。	年4回	3月毎
設置地盤	□	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		
			段差、傾斜がない。		
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		
			隆起の発生がない。		
設置地盤	■	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。	年4回	3月毎
			事業地周辺への土砂の流出がない。	年4回	3月毎
			雨水等による洗掘がない。	年4回	3月毎
			草木の繁茂がない。	年4回	3月毎

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



事業区域図



60 m

1:1500

禁無断複写複製

J T N 住宅地図ブルーマップ配信サービス

中野市大字田上字牧ノ入2500-2予定工程表

[illegible]

東京都千代田区神田須田町二丁目5番地
C E エンジニアリング株式会社

資材搬入経路



マップ切替

検索

★ ルート

全てはすす

◀ 現在地 中野市田上 付近

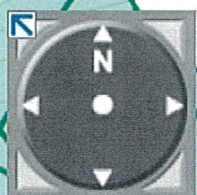


透過性



初期値

☒ 中心十字切替



1/5000





時刻	時間	太陽高度	太陽方位角	観測長率	X 倍率	Y 倍率
8:00	7°24'	53°14'	7.607	-6.174	4.612	
8:30	12°02'	48°05'	4.960	-3.490	3.133	
9:00	16°18'	42°31'	3.184	-2.310	2.519	
9:30	20°08'	36°30'	2.729	-1.623	2.193	
10:00	23°25'	30°03'	2.304	-1.154	1.899	
10:30	26°06'	23°01'	1.874	-0.786	1.677	
11:00	28°10'	15°37'	1.439	-0.504	1.455	
11:30	29°19'	7°54'	1.181	-0.245	1.174	
12:00	29°44'	0°00'	0.751	0.000	0.751	
12:30	29°19'	7°54'	1.181	0.245	1.174	
13:00	28°05'	15°37'	1.874	0.504	1.805	
13:30	26°06'	23°01'	2.304	0.786	1.899	
14:00	23°25'	30°03'	2.729	1.154	2.193	
14:30	20°08'	36°30'	3.184	1.623	2.519	
15:00	16°18'	42°31'	3.680	2.310	2.933	
15:30	12°02'	48°05'	4.960	3.490	3.133	
16:00	7°24'	53°14'	7.607	6.174	4.612	

工事名称	図番
中野市田上太陽光発電所	中野52-2 田上52
図面名称	作成年月日
パ 植 (仮) 配置図	2021/1/21 2022/9/17 2021/2/5 2022/4/30 2022/4/9 2023/3/9 2022/4/21 2023/12/19 2022/4/25 2023/12/29 2023/7/1 2024/3/29

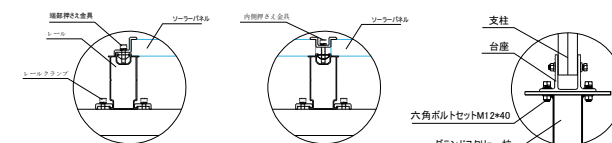
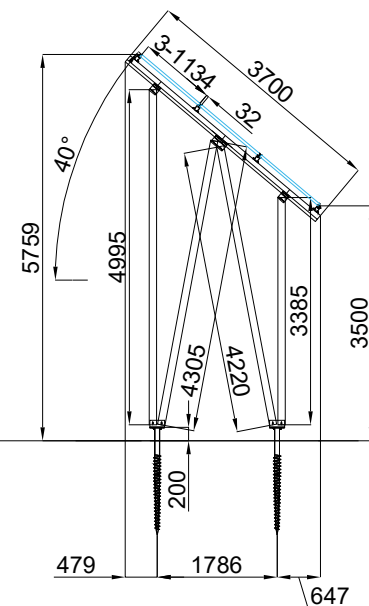
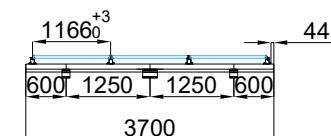
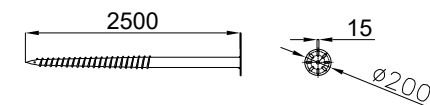
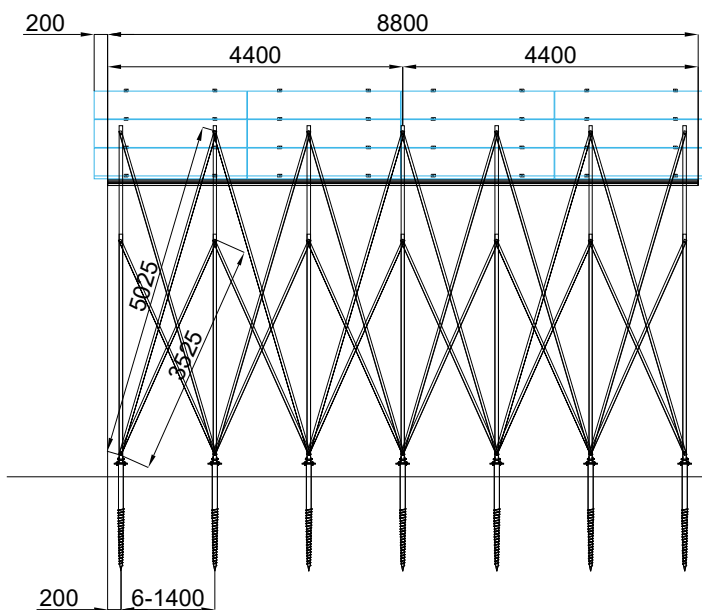
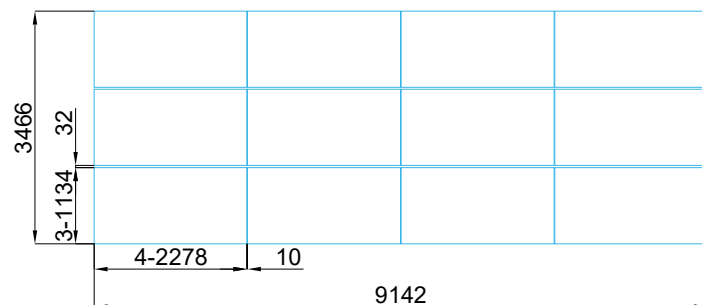
No.		No.	年月日	摘要	No.	年月日	摘要
△ ₆		△ ₆			△ ₇		
△ ₇		△ ₇			△ ₈		
△ ₈		△ ₈			△ ₉		
△ ₉		△ ₉			△ ₁₀		
△ ₁₀		△ ₁₀			△ ₁₁		

CEエンジニアリング(株)

送受信(提示群) 77/6名は西暦日付tofrom相手名_概要_(PJNo_PJ名) 標題部/7外変更(20181116), A3(作図)をPDF化する時はA1で作成し、実印刷する時にA3に縮小設定する A3横(横)_1-1(20180723)

高社山から現地鳥瞰図





仕様:

1.パネルサイズ : 2278X1134X35mm

2.アレイ構成: 3X4(12pcs)

3.風速: 30m/s 積雪: 300cm(JIS C8955 2017)

4.地表面粗度区分: II

5.杭長さ指定無しの場合、仮に一般地質N値(≥4)でご提案致します。但し、地質状況が複雑なので、事前地盤調査を行ったほうが安全的です。

案件名

長野県中野市田上字牧野入2500-2

設計

hong

日付

2023.1.19

番号

001

用紙

A4

縮尺

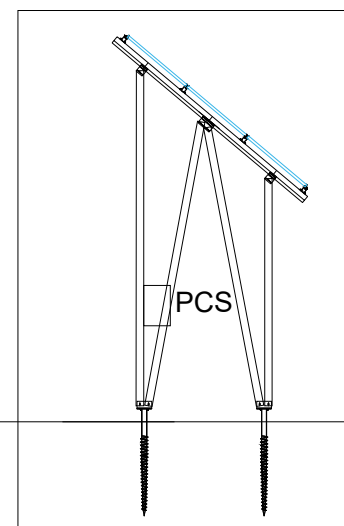
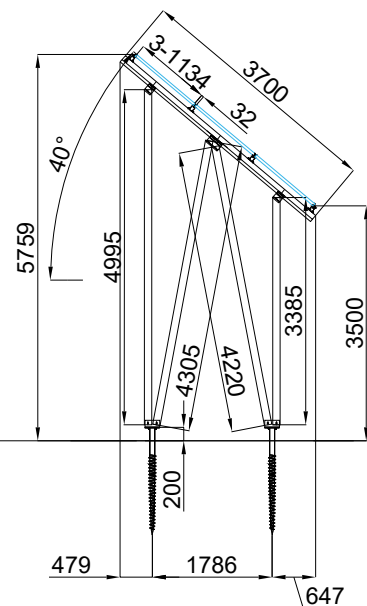
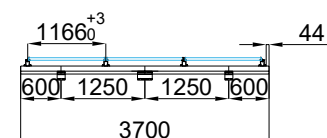
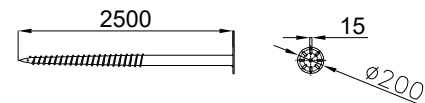
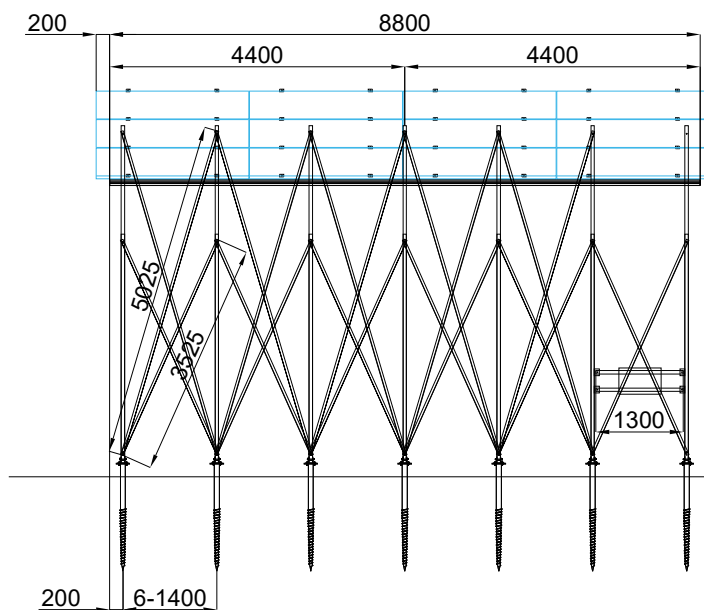
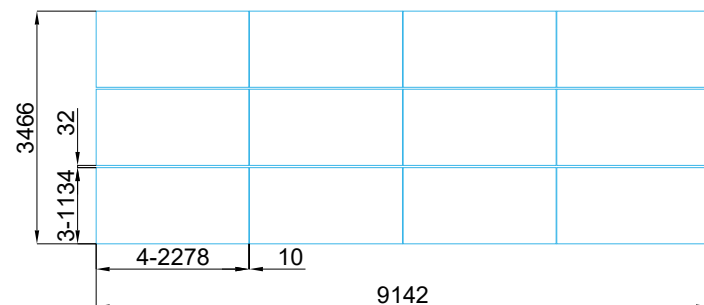
1/100

ビュー

1/100



廈門カセング金属科技有限公司
Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd



仕様:

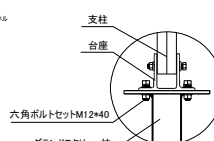
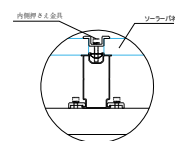
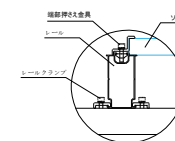
1.パネルサイズ: 2278X1134X35mm

2.アレイ構成: 3X4(12pcs)

3.風速: 30m/s 積雪: 300cm(JIS C8955 2017)

4.地表面粗度区分: II

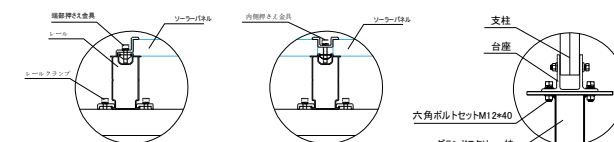
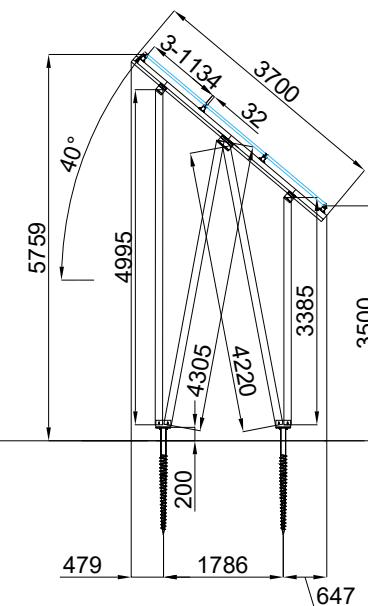
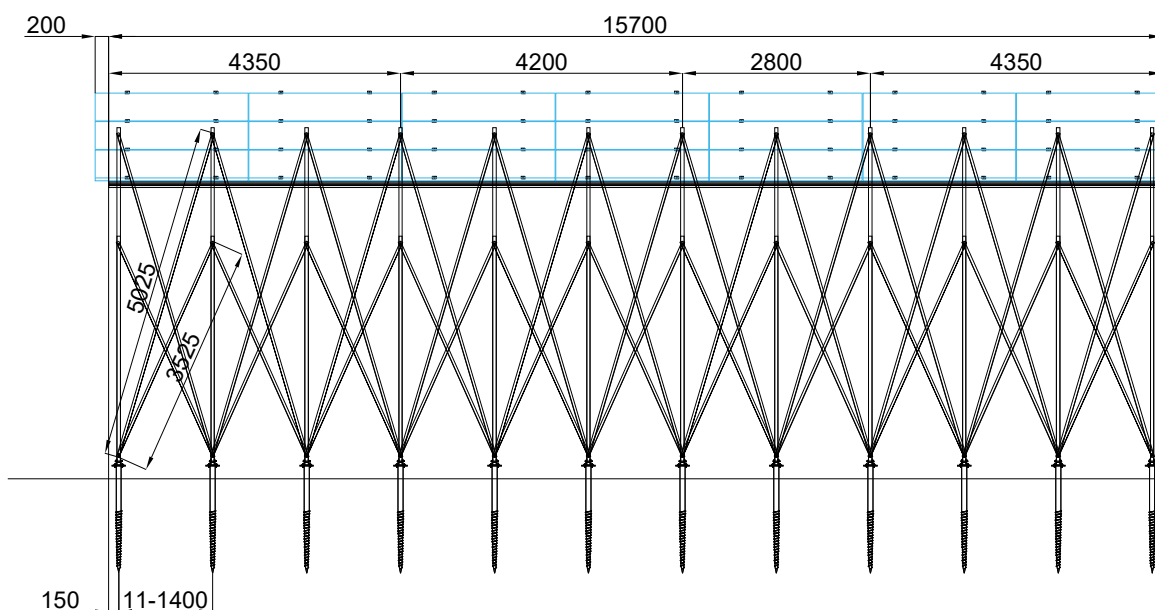
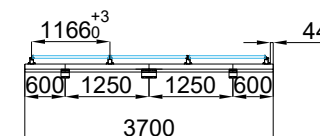
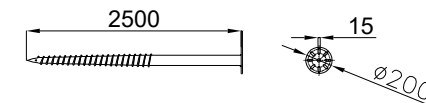
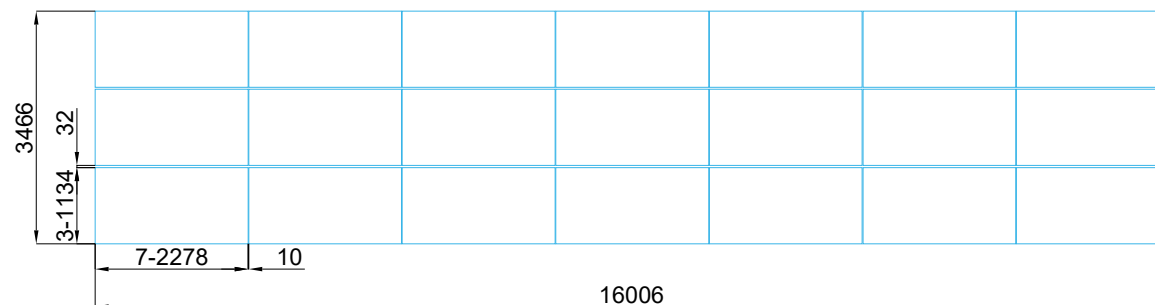
5.杭長さ指定無しの場合、仮に一般地質N値(≥4)でご提案致します。但し、地質状況が複雑なので、事前地盤調査を行ったほうが安全的です。



案件名	長野県中野市田上字牧野入2500-2					
設計	hong	日付	番号	用紙	縮尺	ビュー
承認		2023.1.19	001	A4		



厦門カセング金属科技有限公司
Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd



仕様:

1.パネルサイズ : 2278X1134X35mm

2.アレイ構成: 3X7(21pcs)

3.風速: 30m/s 積雪: 300cm(JIS C8955 2017)

4.地表面粗度区分: II

5.杭長さ指定無しの場合、仮に一般地質N値(≥4)でご提案致します。但し、地質状況が複雑なので、事前地盤調査を行ったほうが安全的です。

案件名

長野県中野市田上字牧野入2500-2

設計

hong

日付

2023.1.19

番号

001

用紙

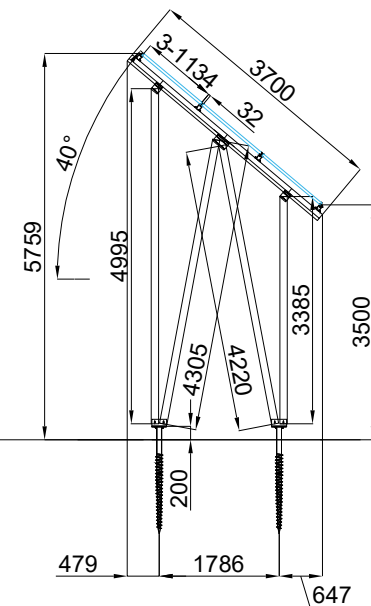
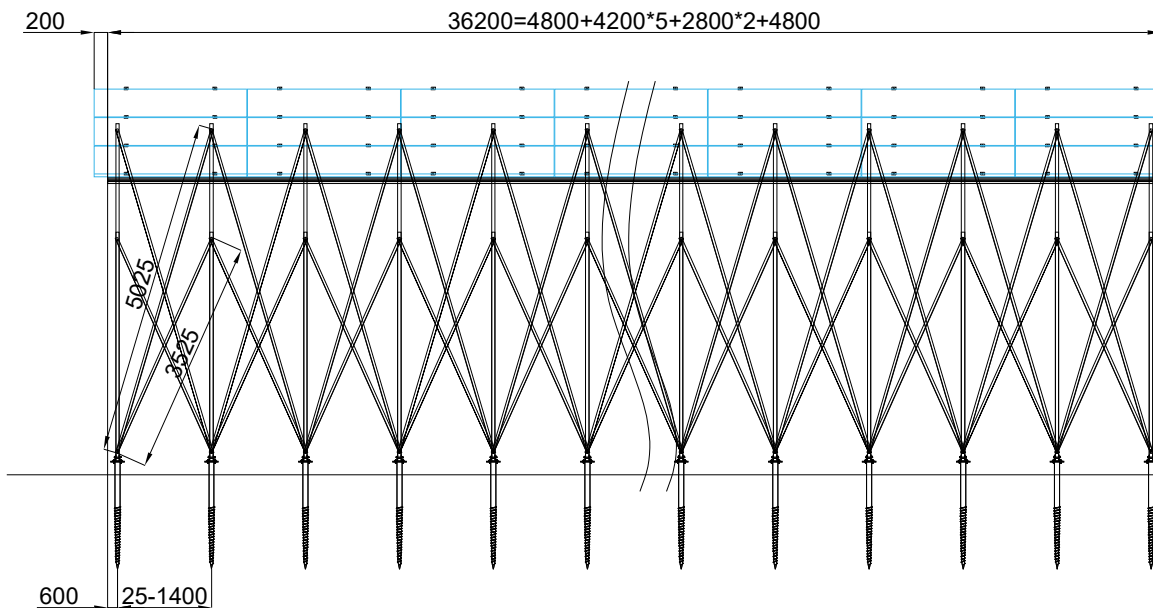
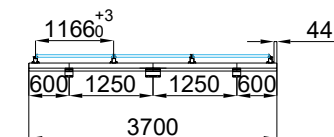
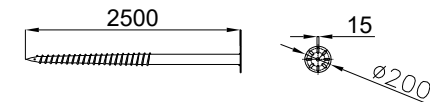
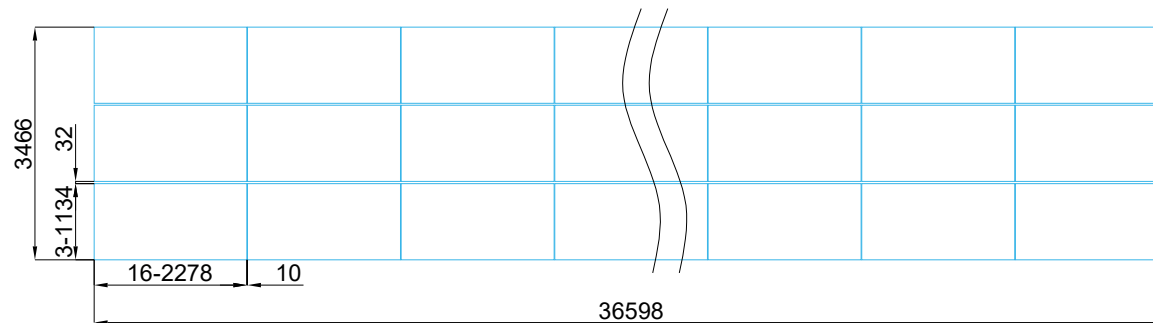
A4

縮尺

ビュー



廈門カセング金属科技有限公司
Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd



仕様:

1.パネルサイズ : 2278X1134X35mm

2.アレイ構成: 3X16(48pcs)

3.風速: 30m/s 積雪: 300cm(JIS C8955 2017)

4.地表面粗度区分: II

5.杭長さ指定無しの場合、仮に一般地質N値(≥4)でご提案致します。但し、地質状況が複雑なので、事前地盤調査を行ったほうが安全的です。

案件名

長野県中野市田上字牧野入2500-2

設計

hong

日付

2023.1.19

番号

001

用紙

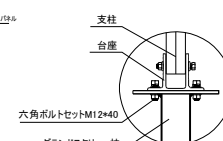
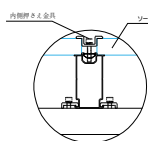
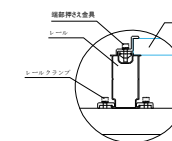
A4

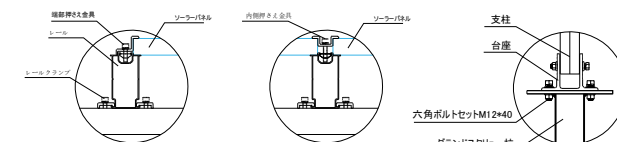
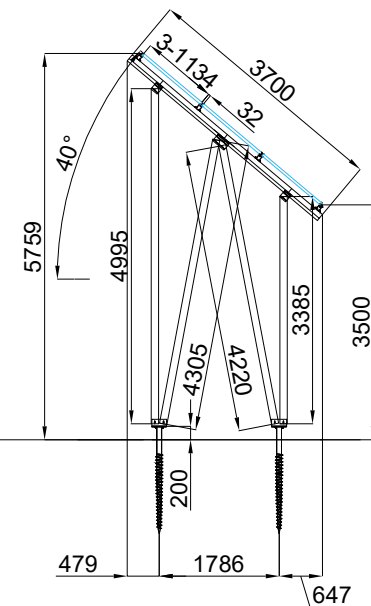
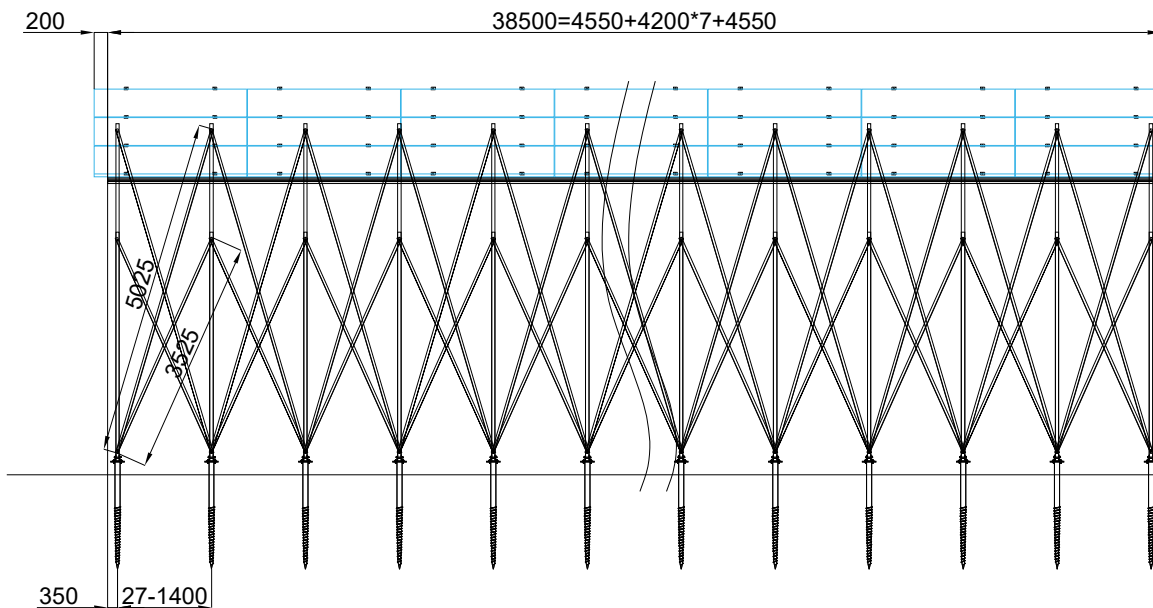
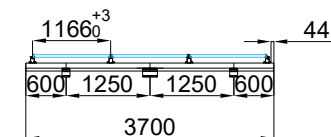
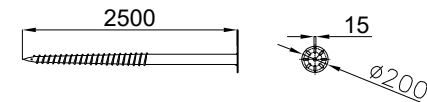
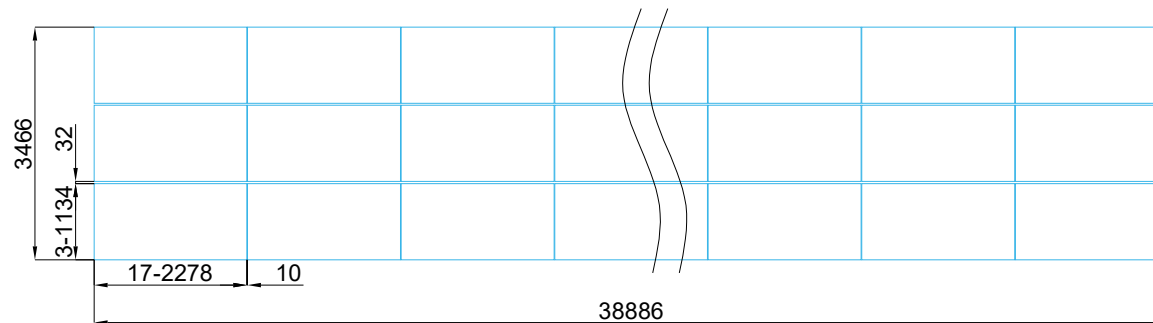
縮尺

ビュー



廈門カセング金属科技有限公司
Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd





仕様:

1.パネルサイズ: 2278X1134X35mm

2.アレイ構成: 3X17(51pcs)

3.風速: 30m/s 積雪: 300cm(JIS C8955 2017)

4.地表面粗度区分: II

5.杭長さ指定無しの場合、仮に一般地質N値(≥4)でご提案致します。但し、地質状況が複雑なので、事前地盤調査を行ったほうが安全的です。

案件名

長野県中野市田上字牧野入2500-2

設計

hong

日付

2023.1.19

番号

001

用紙

A4

縮尺

ビュー



廈門カセング金属科技有限公司
Xiamen Kseng Metal Tech.Co.,Ltd

